

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563001002	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (G1~G3_L(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2 ~ 3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。過去のプリントは教室ではお渡しできない。教員研究室に取りに来る。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 透視能力はある？
第3回	Task : きょうだいはいる？
第4回	Task : 相性No. 1はだれ？
第5回	Task : クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task : クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第9回	Task : Summer Vacation Bingo
第10回	Task : 私の趣味は
第11回	Task : 一週間の予定は？
第12回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第13回	スピーキングテスト
第14回	Task : ハンバーガーショップで（1）
第15回	Task : ハンバーガーショップで（2）
第16回	ペーパーテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563001003	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (L(韓2)_E(韓1)_F1 ~ F3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2 ~ 3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。過去のプリントは教室ではお渡しできない。教員研究室に取りに来る。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 透視能力はある？
第3回	Task : きょうだいはいる？
第4回	Task : 相性No. 1はだれ？
第5回	Task : クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task : クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第9回	Task : Summer Vacation Bingo
第10回	Task : 私の趣味は
第11回	Task : 一週間の予定は？
第12回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第13回	スピーキングテスト
第14回	Task : ハンバーガーショップで（1）
第15回	Task : ハンバーガーショップで（2）
第16回	ペーパーテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563001004	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (P1・P2_T(韓2)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2 ~ 3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。過去のプリントは教室ではお渡しできない。教員研究室に取りに来る。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task：透視能力はある？
第3回	Task：きょうだいはいる？
第4回	Task：相性No. 1はだれ？
第5回	Task：クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task：クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第9回	Task：Summer Vacation Bingo
第10回	Task：私の趣味は
第11回	Task：一週間の予定は？
第12回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第13回	スピーキングテスト
第14回	Task：ハンバーガーショップで（1）
第15回	Task：ハンバーガーショップで（2）
第16回	ペーパーテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563001005	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (E(韓2)_D1・D2) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2 ~ 3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。過去のプリントは教室ではお渡しできない。教員研究室に取りに来る。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task：透視能力はある？
第3回	Task：きょうだいはいる？
第4回	Task：相性No. 1はだれ？
第5回	Task：クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task：クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第9回	Task：Summer Vacation Bingo
第10回	Task：私の趣味は
第11回	Task：一週間の予定は？
第12回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第13回	スピーキングテスト
第14回	Task：ハンバーガーショップで（1）
第15回	Task：ハンバーガーショップで（2）
第16回	ペーパーテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563001006	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (K1 ~ K3_J1 ~ J3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2 ~ 3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。過去のプリントは教室ではお渡しできない。教員研究室に取りに来る。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task：透視能力はある？
第3回	Task：きょうだいはいる？
第4回	Task：相性No. 1はだれ？
第5回	Task：クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task：クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第9回	Task：Summer Vacation Bingo
第10回	Task：私の趣味は
第11回	Task：一週間の予定は？
第12回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第13回	スピーキングテスト
第14回	Task：ハンバーガーショップで（1）
第15回	Task：ハンバーガーショップで（2）
第16回	ペーパーテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563001007	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (M1~M6_T(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2 ~ 3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。過去のプリントは教室ではお渡しできない。教員研究室に取りに来る。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ウォームアップ・アクティビティ
第2回	Task : 透視能力はある？
第3回	Task : きょうだいはいる？
第4回	Task : 相性No. 1はだれ？
第5回	Task : クラスの実態調査
第6回	Project 1 自己紹介しよう
第7回	スピーキングテスト
第8回	Task : クイズ！私は何をしているのでしょうか？
第9回	Task : Summer Vacation Bingo
第10回	Task : 私の趣味は
第11回	Task : 一週間の予定は？
第12回	Project 2 身近な人を紹介しよう
第13回	スピーキングテスト
第14回	Task : ハンバーガーショップで（1）
第15回	Task : ハンバーガーショップで（2）
第16回	ペーパーテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563003001	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (P1・P2_T(韓2)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	第一回目の授業でお知らせします。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業開始前もしくは終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方(出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細(配分、評価方法、日程等)は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30% 欠席した場合は、成績評価は欠席。 合計100点、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。不正な打刻については減点する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	復習
第2回	過去のことを言おう
第3回	理由を聞き、答えてみよう
第4回	約束をとりつけよう
第5回	食べ物の感想を言おう
第6回	可能かどうかを言おう
第7回	提案してみよう
第8回	相手の都合を聞こう
第9回	予定について言おう
第10回	何をしているか伝えよう
第11回	気持ちを伝えよう
第12回	季節の感想を言おう
第13回	同意をもとめよう
第14回	好きなことを聞こう
第15回	意思を伝えよう
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563003002	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (L(韓2)_E(韓1)_F1 ~ F3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	第一回目の授業でお知らせします。		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業開始前もしくは終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標 / Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方(出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細(配分、評価方法、日程等)は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30% 欠席した場合は、成績評価は欠席。 合計100点、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。不正な打刻については減点する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	復習
第2回	過去のことを言おう
第3回	理由を聞き、答えてみよう
第4回	約束をとりつけよう
第5回	食べ物の感想を言おう
第6回	可能かどうかを言おう
第7回	提案してみよう
第8回	相手の都合を聞こう
第9回	予定について言おう
第10回	何をしているか伝えよう
第11回	気持ちを伝えよう
第12回	季節の感想を言おう
第13回	同意をもとめよう
第14回	好きなことを聞こう
第15回	意思を伝えよう
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563003003	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (G1~G3_L(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	第一回目の授業でお知らせします。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業開始前もしくは終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方(出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細(配分、評価方法、日程等)は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30% 欠席した場合は、成績評価は欠席。 合計100点、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。不正な打刻については減点する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	復習
第2回	過去のことを言おう
第3回	理由を聞き、答えてみよう
第4回	約束をとりつけよう
第5回	食べ物の感想を言おう
第6回	可能かどうかを言おう
第7回	提案してみよう
第8回	相手の都合を聞こう
第9回	予定について言おう
第10回	何をしているか伝えよう
第11回	気持ちを伝えよう
第12回	季節の感想を言おう
第13回	同意をもとめよう
第14回	好きなことを聞こう
第15回	意思を伝えよう
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563003004	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (E(韓2)_D1・D2) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	第一回目の授業でお知らせします。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業開始前もしくは終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方(出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細(配分、評価方法、日程等)は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30% 欠席した場合は、成績評価は欠席。 合計100点、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。不正な打刻については減点する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	復習
第2回	過去のことを言おう
第3回	理由を聞き、答えてみよう
第4回	約束をとりつけよう
第5回	食べ物の感想を言おう
第6回	可能かどうかを言おう
第7回	提案してみよう
第8回	相手の都合を聞こう
第9回	予定について言おう
第10回	何をしているか伝えよう
第11回	気持ちを伝えよう
第12回	季節の感想を言おう
第13回	同意をもとめよう
第14回	好きなことを聞こう
第15回	意思を伝えよう
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563003005	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (K1 ~ K3_J1 ~ J3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	第一回目の授業でお知らせします。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業開始前もしくは終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方(出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細(配分、評価方法、日程等)は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30% 欠席した場合は、成績評価は欠席。 合計100点、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。不正な打刻については減点する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	復習
第2回	過去のことを言おう
第3回	理由を聞き、答えてみよう
第4回	約束をとりつけよう
第5回	食べ物の感想を言おう
第6回	可能かどうかを言おう
第7回	提案してみよう
第8回	相手の都合を聞こう
第9回	予定について言おう
第10回	何をしているか伝えよう
第11回	気持ちを伝えよう
第12回	季節の感想を言おう
第13回	同意をもとめよう
第14回	好きなことを聞こう
第15回	意思を伝えよう
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563003006	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (M1 ~ M6_T(韓1)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	第一回目の授業でお知らせします。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業開始前もしくは終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本文法を理解し、基本的な会話文でコミュニケーションできることを目標とします。さらに、韓国語の発音及びリスニング力を身につけます。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 ハングル文字を読み、書くことができるようになる。 与えられたトピックについて、口頭(2分以上)及び文章で自己表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方(出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価(課題、スピーキングテスト、小テストなど) 50% 詳細(配分、評価方法、日程等)は、第一回目の授業で説明します。 ペーパーテスト(定期試験) 30% 欠席した場合は、成績評価は欠席。 合計100点、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題(ワークシート、テストの準備など)を準備しておく(0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること(0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 いっしょにコリアン(白帝社) 参考教材 配布プリント 配布プリントは冊子状にファイリングし、授業に持参する。授業中に使用した紙媒体のものはすべて、卒業時まで保管する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければならない。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室と同時に出席届出用紙に記入し、教員に提出する。不正な打刻については減点する。 欠席 やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、隣りの人に声をかけ、助けてもらいましょう。自分とは異なる背景や考え方をもった人と協働する力こそ、これからの社会が必要とするものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	復習
第2回	過去のことを言おう
第3回	理由を聞き、答えてみよう
第4回	約束をとりつけよう
第5回	食べ物の感想を言おう
第6回	可能かどうかを言おう
第7回	提案してみよう
第8回	相手の都合を聞こう
第9回	予定について言おう
第10回	何をしているか伝えよう
第11回	気持ちを伝えよう
第12回	季節の感想を言おう
第13回	同意をもとめよう
第14回	好きなことを聞こう
第15回	意思を伝えよう
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563005001	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2M1 ~ 2M3_2D1・2D2_2T6 ~ 2T10) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日昼休み その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	韓国語 と で身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 身近なトピックについて、口頭 (2分30秒以上)、文章 (50ワード以上) で自己表現できるようになる。 ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 (出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価 (課題、スピーキング・リーディングテスト) 定期試験 (ペーパーテスト) 80% 詳細 (配分、評価方法など) については、第一回目の授業で説明します。 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 課された課題 (ワークシート、テストの準備など) を準備しておく (0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること (0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書 かんたん!韓国語 実践会話編 (朝日出版社) 参考教材 配布プリント 冊子状に整理した上で、授業に持参する。欠席した場合は、教員研究室に取りに来る。過去のプリントは教室ではお渡しできない。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。カードを忘れた場合は、入室と同時に、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出する。必要書類については教養教育事務室で確認する。教員にメールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部との学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないことがあったら、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。異なる背景や考え方をもちた人と協働する力こそ、これからの社会において必要なものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォーミングアップ
第2回	トピック：ローカルカルチャー
第3回	トピック：ローカルカルチャー
第4回	トピック：ローカルカルチャー
第5回	トピック：ローカルカルチャー
第6回	トピック：ローカルカルチャー
第7回	スピーキングテスト（ローカルカルチャー） エッセイ提出
第8回	トピック：ライフスタイル
第9回	トピック：ライフスタイル
第10回	トピック：ライフスタイル
第11回	トピック：ライフスタイル
第12回	トピック：ライフスタイル
第13回	スピーキングテスト（ローカルカルチャーor ライフスタイル） エッセイ提出
第14回	リーディングテスト（ライフスタイル）
第15回	まとめ
第16回	ペーパーテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563005002	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2T1 ~ 2T5_2K1 ~ 2K3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日昼休み その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	韓国語 と で身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 身近なトピックについて、口頭 (2分30秒以上)、文章 (50ワード以上) で自己表現できるようになる。 ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 (出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価 (課題、スピーキング・リーディングテスト) 定期試験 (ペーパーテスト) 80% 詳細 (配分、評価方法など) については、第一回目の授業で説明します。 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 課された課題 (ワークシート、テストの準備など) を準備しておく (0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること (0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書 かんたん!韓国語 実践会話編 (朝日出版社) 参考教材 配布プリント 冊子状に整理した上で、授業に持参する。欠席した場合は、教員研究室に取りに来る。過去のプリントは教室ではお渡しできない。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。カードを忘れた場合は、入室と同時に、出席届用紙に記入し、教員に提出する。 やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出する。必要書類については教養教育事務室で確認する。教員にメールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないことがあったら、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。異なる背景や考え方をもちた人と協働する力こそ、これからの社会において必要なものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォーミングアップ
第2回	トピック：ローカルカルチャー
第3回	トピック：ローカルカルチャー
第4回	トピック：ローカルカルチャー
第5回	トピック：ローカルカルチャー
第6回	トピック：ローカルカルチャー
第7回	スピーキングテスト（ローカルカルチャー） エッセイ提出
第8回	トピック：ライフスタイル
第9回	トピック：ライフスタイル
第10回	トピック：ライフスタイル
第11回	トピック：ライフスタイル
第12回	トピック：ライフスタイル
第13回	スピーキングテスト（ローカルカルチャーor ライフスタイル） エッセイ提出
第14回	リーディングテスト（ライフスタイル）
第15回	まとめ
第16回	ペーパーテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563005003	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2G1 ~ 2G3_2L(韓1)_2E1 ~ 2E3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 4 ~ 5 限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	韓国語 と で身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 身近なトピックについて、口頭 (2分30秒以上)、文章 (50ワード以上) で自己表現できるようになる。 ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 (出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価 (課題、スピーキング・リーディングテスト) 定期試験 (ペーパーテスト) 80% 詳細 (配分、評価方法など) については、第一回目の授業で説明します。 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 課された課題 (ワークシート、テストの準備など) を準備しておく (0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること (0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書 かんたん!韓国語 実践会話編 (朝日出版社) 参考教材 配布プリント 冊子状に整理した上で、授業に持参する。欠席した場合は、教員研究室に取りに来る。過去のプリントは教室ではお渡しできない。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。カードを忘れた場合は、入室と同時に、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出する。必要書類については教養教育事務室で確認する。教員にメールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないことがあったら、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。異なる背景や考え方をもちた人と協働する力こそ、これからの社会において必要なものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォーミングアップ
第2回	トピック：ローカルカルチャー
第3回	トピック：ローカルカルチャー
第4回	トピック：ローカルカルチャー
第5回	トピック：ローカルカルチャー
第6回	トピック：ローカルカルチャー
第7回	スピーキングテスト（ローカルカルチャー） エッセイ提出
第8回	トピック：ライフスタイル
第9回	トピック：ライフスタイル
第10回	トピック：ライフスタイル
第11回	トピック：ライフスタイル
第12回	トピック：ライフスタイル
第13回	スピーキングテスト（ローカルカルチャーor ライフスタイル） エッセイ提出
第14回	リーディングテスト（ライフスタイル）
第15回	まとめ
第16回	ペーパーテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563005004	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2L(韓2)_2E4 ~ 2E6_2P1・2P2_2F1 ~ 2F3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 4 ~ 5 限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	韓国語 と で身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 身近なトピックについて、口頭 (2分30秒以上)、文章 (50ワード以上) で自己表現できるようになる。 ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 (出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価 (課題、スピーキング・リーディングテスト) 定期試験 (ペーパーテスト) 80% 詳細 (配分、評価方法など) については、第一回目の授業で説明します。 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 課された課題 (ワークシート、テストの準備など) を準備しておく (0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること (0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書 かんたん!韓国語 実践会話編 (朝日出版社) 参考教材 配布プリント 冊子状に整理した上で、授業に持参する。欠席した場合は、教員研究室に取りに来る。過去のプリントは教室ではお渡しできない。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。 入室の際、ICカードリーダーで打刻する。カードを忘れた場合は、入室と同時に、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出する。必要書類については教養教育事務室で確認する。教員にメールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部との学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないことがあったら、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。異なる背景や考え方をもちた人と協働する力こそ、これからの社会において必要なものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォーミングアップ
第2回	トピック：ローカルカルチャー
第3回	トピック：ローカルカルチャー
第4回	トピック：ローカルカルチャー
第5回	トピック：ローカルカルチャー
第6回	トピック：ローカルカルチャー
第7回	スピーキングテスト（ローカルカルチャー） エッセイ提出
第8回	トピック：ライフスタイル
第9回	トピック：ライフスタイル
第10回	トピック：ライフスタイル
第11回	トピック：ライフスタイル
第12回	トピック：ライフスタイル
第13回	スピーキングテスト（ローカルカルチャーor ライフスタイル） エッセイ提出
第14回	リーディングテスト（ライフスタイル）
第15回	まとめ
第16回	ペーパーテスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563007001	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2M1 ~ 2M3_2D1・2D2_2T6 ~ 2T10) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	第一回目の授業でお知らせします。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	第一回目の授業でお知らせします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	韓国語 と で身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 身近なトピックについて、口頭 (2分30秒以上)、文章 (50ワード以上) で自己表現できるようになる。 ハンゲルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 (出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価 (課題、スピーキング・リーディングテスト) 定期試験 (ペーパーテスト) 80% 詳細 (配分、評価方法など) については、第一回目の授業で説明します。 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題 (ワークシート、テストの準備など) を準備しておく (0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること (0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 かんたん!韓国語 実践会話編 (朝日出版社) 参考教材 配布プリント 冊子状に整理した上で、授業に持参する。欠席した場合は、教員研究室に取りに来る。過去のプリントは教室ではお渡しできない。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。入室の際、ICカードリーダーで打刻する。カードを忘れた場合は、入室と同時に、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出する。必要な書類については教養教育事務室で確認する。教員にメールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部との学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないことがあったら、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。異なる背景や考え方をもちた人と協働する力こそ、これからの社会において必要なものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	できるかできないかを言おう
第2回	相手を誘ってみよう
第3回	手順をつたえよう
第4回	時のことを言おう
第5回	予定を伝えよう
第6回	許可を得よう
第7回	禁止のことを伝えよう
第8回	今何をしているか言おう
第9回	誰としているかを言おう
第10回	依頼してみよう
第11回	敬語を使ってみよう
第12回	敬語を使って質問してみよう
第13回	敬語を使って禁止のことをついて伝えよう
第14回	敬語を使って答えてみよう
第15回	不可能であることを伝えよう
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563007002	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2T1 ~ 2T5_2K1 ~ 2K3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	第一回目の授業でお知らせします。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	第一回目の授業でお知らせします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	韓国語 と で身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標/Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 身近なトピックについて、口頭 (2分30秒以上)、文章 (50ワード以上) で自己表現できるようになる。 ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 (出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価 (課題、スピーキング・リーディングテスト) 定期試験 (ペーパーテスト) 80% 詳細 (配分、評価方法など) については、第一回目の授業で説明します。 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題 (ワークシート、テストの準備など) を準備しておく (0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること (0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 かんたん!韓国語 実践会話編 (朝日出版社) 参考教材 配布プリント 冊子状に整理した上で、授業に持参する。欠席した場合は、教員研究室に取りに来る。過去のプリントは教室ではお渡しできない。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。入室の際、ICカードリーダーで打刻する。カードを忘れた場合は、入室と同時に、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出する。必要書類については教養教育事務室で確認する。教員にメールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部との学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないことがあったら、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。異なる背景や考え方をもちた人と協働する力こそ、これからの社会において必要なものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	できるかできないかを言おう
第2回	相手を誘ってみよう
第3回	手順をつたえよう
第4回	時のことを言おう
第5回	予定を伝えよう
第6回	許可を得よう
第7回	禁止のことを伝えよう
第8回	今何をしているか言おう
第9回	誰としているかを言おう
第10回	依頼してみよう
第11回	敬語を使ってみよう
第12回	敬語を使って質問してみよう
第13回	敬語を使って禁止のことをついて伝えよう
第14回	敬語を使って答えてみよう
第15回	不可能であることを伝えよう
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563007003	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2G1 ~ 2G3_2L1 ~ 2L3_2E1 ~ 2E3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	梁 正善 / YANG JEONGSUN		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	梁 正善 / YANG JEONGSUN		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	梁 正善 / YANG JEONGSUN		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3_2L1 ~ 2L3_2E1 ~ 2E3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yjs7437 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	韓国語 と で身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標 / Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 身近なトピックについて、口頭 (2分30秒以上)、文章 (50ワード以上) で自己表現できるようになる。 ハングルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 (出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価 (課題、スピーキング・リーディングテスト) 定期試験 (ペーパーテスト) 80% 詳細 (配分、評価方法など) については、第一回目の授業で説明します。 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題 (ワークシート、テストの準備など) を準備しておく (0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること (0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 かんたん!韓国語 実践会話編 (朝日出版社) 参考教材 配布プリント 冊子状に整理した上で、授業に持参する。欠席した場合は、教員研究室に取りに来る。過去のプリントは教室ではお渡しできない。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。入室の際、ICカードリーダーで打刻する。カードを忘れた場合は、入室と同時に、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出する。必要な書類については教養教育事務室で確認する。教員にメールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部との学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないことがあったら、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。異なる背景や考え方をもちた人と協働する力こそ、これからの社会において必要なものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	できるかできないかを言おう
第2回	相手を誘ってみよう
第3回	手順をつたえよう
第4回	時のことを言おう
第5回	予定を伝えよう
第6回	許可を得よう
第7回	禁止のことを伝えよう
第8回	今何をしているか言おう
第9回	誰としているかを言おう
第10回	依頼してみよう
第11回	敬語を使ってみよう
第12回	敬語を使って質問してみよう
第13回	敬語を使って禁止のことをついて伝えよう
第14回	敬語を使って答えてみよう
第15回	不可能であることを伝えよう
第16回	定期試験（ペーパーテスト）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200563007004	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2E4 ~ 2E6_2P1・2P2_2F1 ~ 2F3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	梁 正善 / YANG JEONGSUN		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	梁 正善 / YANG JEONGSUN		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	梁 正善 / YANG JEONGSUN		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E4 ~ 2E6_2P1・2P2_2F1 ~ 2F3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yjs7437 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	韓国語 と で身につけた4技能をもとに、よりリアルなコミュニケーション能力を伸ばします。		
授業到達目標 / Course goals	主体的に他者とコミュニケーションし、協働できるようになる。 身近なトピックについて、口頭 (2分30秒以上)、文章 (50ワード以上) で自己表現できるようになる。 ハンゲルを読み、書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み方 (出席状況、授業態度など) 20% 授業内評価 (課題、スピーキング・リーディングテスト) 定期試験 (ペーパーテスト) 80% 詳細 (配分、評価方法など) については、第一回目の授業で説明します。 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 課された課題 (ワークシート、テストの準備など) を準備しておく (0.5h) 復習 授業内容について、テキストや配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること (0.5h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 かんたん!韓国語 実践会話編 (朝日出版社) 参考教材 配布プリント 冊子状に整理した上で、授業に持参する。欠席した場合は、教員研究室に取りに来る。過去のプリントは教室ではお渡しできない。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	原則、全回出席しなければなりません。出席が3分の2に達しない場合は、成績評価は失格。入室の際、ICカードリーダーで打刻する。カードを忘れた場合は、入室と同時に、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。 やむを得ず、欠席した場合は、必要な書類を教員に提出する。必要書類については教養教育事務室で確認する。教員にメールや電話で連絡する必要はない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部との学生と関わりあえる貴重な機会です。授業でよく分からないことがあったら、隣の人に声をかけ、助けてもらいましょう。異なる背景や考え方をもちた人と協働する力こそ、これからの社会において必要なものです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	できるかできないかを言おう
第2回	相手を誘ってみよう
第3回	手順をつたえよう
第4回	時のことを言おう
第5回	予定を伝えよう
第6回	許可を得よう
第7回	禁止のことを伝えよう
第8回	今何をしているか言おう
第9回	誰としているかを言おう
第10回	依頼してみよう
第11回	敬語を使ってみよう
第12回	敬語を使って質問してみよう
第13回	敬語を使って禁止のことをついて伝えよう
第14回	敬語を使って答えてみよう
第15回	不可能であることを伝えよう
第16回	定期試験（ペーパーテスト）